

教 科	生活支援技術	学科・学年	社会福祉科・3年	単位数	4 単位
目 標	障害に応じた生活支援の基本的な知識・技術を習得する。また、利用者が自立した生活を送るための支援方法について、その場面に応じた援助ができるような実践的能力・態度を身に付ける。				
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・定期テスト などの状況から総合して評価する。				
評価観点	【関心・意欲・態度】 障害者の生活支援に関心を持ち、意欲的に学習する態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 様々な生活支援の場面において、障害に応じた適切な支援方法を判断し、説明できる。 【技能】 障害に応じた生活支援を安全・安楽に実施することができる。 【知識・理解】 障害に応じた生活支援技術に関する基礎的な知識を身につけ、利用者が自立した生活を送るための支援方法を理解している。				
使用教科書	生活支援技術Ⅱ（メヂカルフレンド社）				
使用副教材	なし				
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4	2 運動機能障害のある人の生活支援 技術	☐ 運動機能障害のある人の生活支援の基本を理解する。 ☐ アセスメントと目標設定の方法を学ぶ。 ☐ 生活支援の実際を理解する。	・講義 ・演習、実習： 「片麻痺・四肢麻痺のある人の援助方法」 「失語症・構音障害のある人のコミュニケーション」		
5	3 内部障害のある 人の生活支援 技術	☐ 内部障害のある人の生活支援の基本を理解する。 ☐ 心機能障害を理解する。 ☐ 呼吸機能障害を理解する。	・講義 ・講義、演習：「ペースメーカーの取扱い」 ・講義、演習：「気管切開・人工呼吸器の取扱い」		
6	3 内部障害のある 人の生活支援 技術	☐ 腎機能障害を理解する。 ☐ 排泄器官の機能障害を理解する。 ☐ 小腸機能障害を理解する。	} 講義 } 中間テスト [点] ・講義 ・演習 ・実習：「ストーマケアの実際」		
7	4 視覚障害のある 人の生活支援 技術	☐ 視覚障害のある人の生活支援の基本を理解する。 ☐ 視覚障害のある人とのコミュニケーションの方法を理解する。 ☐ 生活支援の実際を理解する。	・期末テスト [点] ・自己評価 A ☐ B ☐ C ☐ ・講義、演習：「クロックポジション」 ・実習：「杖歩行・ガイドヘルプ」		
反 省					
7	【夏季休業】				

8・9	5 聴覚障害のある人の生活支援技術 6 言語に障害を認める人の生活支援技術	☐聴覚障害のある人の生活支援の基本を理解する。 ☐生活支援の実際を理解する。 ☐言語障害のある人の生活支援の基本を理解する。 ☐生活支援の実際を理解する。	・講義 ・演習：「コミュニケーションの実際」 ・講義 ・演習：「コミュニケーションの実際」
10	7 発達障害のある人の生活支援技術 8 精神障害のある人の生活支援技術	☐発達障害のある人の生活支援の基本を理解する。 ☐生活支援の実際を理解する。 ☐精神障害のある人の生活支援の基本を理解する。	・講義 ・中間テスト [点] ・講義
11	8 精神障害のある人の生活支援技術 9 高次脳機能障害を認める人の生活支援技術	☐生活支援の実際を理解する。 ☐高次脳機能障害を認める人の生活支援の基本を理解する。 ☐生活支援の実際を理解する。	・講義 ・演習：「事例学習」 ・講義 ・演習：「事例学習」
12	11 全介助を要する人および難病の人の生活支援技術 【冬季休業】	☐全介助を要する人の生活支援の基本を理解する。 ☐難病の人の生活支援の基本を理解する。 ☐生活支援の実際を理解する。	・期末テスト [点] ・自己評価 A☐ B☐ C☐ ・講義 ・講義
反省			
1	《総合問題演習》	☐国家試験について、過去問題の傾向と対策を理解する。 ☐模擬問題で7割の正答率を目指す。	・過去問題分析 ・模擬テスト ・学年末テスト [点] ・自己評価 A☐ B☐ C☐
2	《総合問題演習》	☐国家試験の自己採点を行い、内容を理解する。 ☐国家試験の問題を分析する。	・自己採点 ・問題分析
3			
反省			